



早稲田大学人間科学総合研究センターシンポジウム

人口減少社会の危機に備える 市民アクションを！

参加費
無料

人間科学と「医療・介護・福祉」の連携シンポジウムのご案内

日本は2009年を頂点として人口減少社会に入りました。専門職・市民・行政・大学が連携して人口減少社会の危機に備える対策をデザインし、行動を起こすことを呼びかけます。

総合コーディネーター

加瀬裕子教授（早稲田大学 人間科学学術院）



「虚弱な高齢者が自宅での生活を維持することの意義と方略」

Dr. Bjorn Slaug (ルンド大学 Center for Aging and Safety Environment)

「増加する高齢者の貧困と格差社会」

橋本健二教授（早稲田大学 人間科学学術院）



「揺れる施設経営と介護保険の持続可能性」

松原由美准教授（早稲田大学 人間科学学術院）



「災害と高齢者の安全」

佐野友紀教授（早稲田大学 人間科学学術院）

「みんなで創る持続可能な医療と介護 ～ 市民アクションの呼びかけ」

妹尾裕之研究員（早稲田大学 ビジネス・ファイナンス研究センター）

日時

2019年11月29日(金)

18:00-20:00 開場:17:40

定員 先着 150名様

会場

所沢WALTZホール

(所沢駅西口・西武百貨店8階、住所:所沢市日吉町12-1)

主催：早稲田大学 人間総合研究センター 共催：ピアワーカーの会

FAX送信先 **04-2947-7123**

下記にご記入の上、このままFAXでご返信ください。

お名前		TEL	
ご住所		E-mail	

QRコード・Eメールからもお申し込みいただけます。
上記の情報を記載のうえ、お申し込み下さい。

Eメール

peerworker.tokorozawa@gmail.com

WEB



ご登録いただいた個人情報は「早稲田大学 個人情報の保護に関する規則」に従って取り扱います。
【<https://www.waseda.jp/top/privacy-policy>】

所沢で「市民アクション」がスタートします！ - あなたの参加でアクションが決まる -

日本は2009年を頂点として人口減少社会に入りました。その影響を直接的に受けるのは医療・介護の人材問題です。既に、東京都23区では介護職員の不足により施設を一部閉鎖する特別養護老人ホームも出現しています。所沢市においても、新しく介護施設を立てても、介護職員が集まらないためにオープンができない施設も出現しています。介護が受けられなくなり、介護難民が増え、介護離職などの問題も深刻化することが予想されます。

このような人口減少社会の危機的な問題（介護・貧困・災害・自宅での暮らし）について、早稲田大学の精鋭教授陣が、分かりやすく解説し、専門職・市民・行政・大学が連携して人口減少社会の危機に備える対策をデザインし、行動を起こすことを呼びかけます！

それぞれの市民が自分の行える範囲で、どのようなアクションを起こせるかを話し合う機会が必要ではないでしょうか。

是非、11月29日はワルツホールに集まって、所沢と日本の未来に繋がるアクションを一緒に考えましょう！